

日本の近代化と条約改正

—明治時代—

6年社会 10月 24Q〈8時間〉

附属新潟小学校 教諭 大矢 和憲

1 目指す姿

- 「大日本帝国憲法の制定や工業の発達，日清・日露戦争の勝利，日本人の活躍など，日本の近代化が進み，外国に認められるほどの国力をつけた。だから，今まで苦しんでいた不平等条約を改正することができ，外国と対等になることができたんだ」などと，社会や国家の課題，課題解決の要因，事象の結果を総合して，条約改正の意味をとらえる子ども。

(1) **中核的な知識や技能**：社会や国家の課題，課題解決の要因，事象の結果を総合してとらえた条約改正の意味

(2) **学びをつなぐ力**：

- ① 関係付けるすべを用いて，既有事項から設定した追究の観点を基に，学習問題の解決につながる出来事（事実）を収集・判断する力
- ② 比較する・関係付けるすべを用いて，出来事（事実）を整理したり結び付けたりして条約改正につながる要因（課題解決に必要な情報）を考える力

2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none">○ これまでの学習をふり返り，まだ解決されていない問題は何か考える。◎ まだ，肝心の不平等条約が解決されていないぞ。○ 不平等条約の問題点を発表する。○ ノルマントン号事件とウェブスター事件，千島艦の事実を知り，当時の日本国民の心情を考える。◎ 不公平で納得がいかない。早く不平等条約を改正しなければいけない。○ 年表から気付いたことを発表する。○ 条約改正について疑問に思うことを発表する。○ 学習問題をつくり，予想を考える。◎ 何度も条約改正に失敗していたのに，なぜ，陸奥宗光や小村寿太郎は不平等条約の改正に成功したのだろうか。 <p>【既有事項】 不平等条約と明治政府の近代化政策などの知識</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 前単元で考えた，「外国に負けない強い国をつくるために必要なこと」を提示し，当時の問題をすべて解決できたかどうか問う。◆ 欧米諸国と結んだ不平等条約の内容と問題点を問う。◆ ノルマントン号事件，ウェブスター事件，千島艦事件の事実（絵図を含む）を提示し，それぞれの事件における問題点と，当時の日本国民の心情を問う。◆ 条約改正に失敗していた事実と，条約改正に成功した事実をまとめた年表（「対象①」）を提示し，気付いたこと，疑問に思うこと，これからみんなで考えたいことを問う。 【働き掛け1】	18 Q 6 時間

<p>一 次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想を発表する。 ○ 予想を共有し、追究の観点につながる出来事（事実）を資料集や教科書などから調べ、付箋紙に書く。 ☆つなぐ力① ○ 調べて分かった事実とその解釈を、小グループで「コア・マトリクス2」にまとめる。 ☆つなぐ力② ○ 当時の社会や国家の課題、課題解決の要因、事象の結果を総合して、学習問題の結論を考える。 ○ 全体で学習問題の結論についての考えを交流する。 ○ 資料を調べ、自分たちの考えの妥当性を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 大日本帝国憲法の制定や工業の発達、日清・日露戦争の勝利、日本人の活躍など、様々な人々の努力で日本の近代化が進み、外国に認められるほどの国力をつけた。だから、今まで苦しんでいた不平等条約を改正することができ、外国と対等になることができたんだ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 予想を分類して追究の観点（法律の制定・産業の発達・軍事力の増強・人の活躍）を設定し、どのようなことが分かればよいか問う。 【働き掛け2】 ◆ 調べて分かった事実とその解釈を問い、小グループで「コア・マトリクス2」にまとめさせる。 【働き掛け3】 ◆ 学習問題についての結論を問い、「コア・マトリクス2」のコア部分を考えさせる。 【働き掛け4】 ◆ 陸奥宗光と小村寿太郎の条約改正交渉について分かる資料（「対象②」）を提示し、陸奥宗光と小村寿太郎が、なぜ、イギリスやアメリカとの条約改正に成功できたのかを問う。 【働き掛け5】 ◆ 2つのふり返りの観点（①「どのように何を学んだのか」自分の学習過程②考え方のコツ）を示し、社会科日記を書かせる。 	<p>18 Q 6 時間</p>
<p>二 次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで苦しんでいた不平等条約が改正できてよかった。 ◎ この頃の日本には、どのような問題があるだろうか。 ○ 不平等条約が改正できた背景にある問題点について、事実を基に、自分の考えをまとめる。 ○ 不平等条約が改正できた背景にある問題点について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 不平等条約が改正できてよかったけれど、戦争をしたことや、韓国を植民地にしたこと、公害が発生したことなど、この時代にはよくないこともいろいろとあった。特に自分は○○が問題だと思う。日本はこれからどうなっていくのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 条約改正が達成され、よいことばかりだったのか問う。 ◆ これからみんなで考えたいことを問う。 ◆ 何について問題だと考えるのか、事実を基に、考えをまとめさせる。 ◆ 当時の日本の問題点について、考えを交流させる。 	<p>6 Q 2 時間</p>

3 内容の関連

